

平成 27 年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題 (I 期)

<<教育内容開発専攻 自然系教育コース>>

外国語科目 (出題意図)

題材は、中国人科学者であるQiang Wang氏が科学誌 Nature のコラム欄に載せた記事である。中国の教育の現状、特に都市部と農村部における教育格差について紹介し、このままでは科学者の構成においてもジェンダー問題と同じように、都市部・農村部出身で大きな歪が生まれると危惧している。教員養成学部の大学院の自然系教育コースを受験する学生が対象であるので、教育問題には関心があるはずである。また、読者である大学院生や科学者に向けた記事であるので、平易な表現で誤読がないように正確に書かれ、具体的に数値を比較しながら文章が構成されている。自然系の学生として数値を正しく読み取れているかは、選別する上での判断材料である。問 1、問 4 は数値を比較した英文を正しく読み取れているか、問 2、問 3、問 5 では教育制度や社会制度に関する記述を正しく読み取っているかを問うている。